



2026 年 9 月 18 日

各 位

会 社 名 abc 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.abc.co.jp/form/corp/>

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 7 月 6 日付「第三者割当による第 1 回無担保社債（私募債）及び第 20 回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び第 19 回新株予約権の一部取得及び消却に関するお知らせ」にて公表しました「第 20 回新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期」について、下記のとおり資金使途の変更をすることといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2026 年 7 月 6 日付「第三者割当による第 1 回無担保社債（私募債）及び第 20 回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び第 19 回新株予約権の一部取得及び消却に関するお知らせ」にて開示のとおり、第三者割当による資金調達を行っております。

当初の資金充当計画におきましては、調達資金の一部を当社グループの運転資金（人件費、外注費、システム関連費用、販売促進費、専門家費用、子会社への給与支払及び諸経費等）に充当し、その他の運転資金需要については営業キャッシュ・フローや外部資金調達等を含めた自律的な資金繰りにて賄う前提としておりました。しかしながら、発行以降の当社グループを取り巻く事業環境の変化およびグループ各社の事業運営状況を踏まえ、資金計画の再検討を行った結果、当社グループ全体としての運転資金の追加確保が急務であるとの判断に至りました。

当社グループでは、2026 年 6 月の株式会社ボンドの完全子会社化をはじめ、アミューズメントポーカー事業およびコミュニティ型エンターテインメント領域における事業展開も急速に推進しております。これに伴い、グループ各店舗の新規リニューアルやイベント展開などの積極的な事業施策に伴う先行投資や、事業拡大スピードに対応するための経営基盤・グループ管理体制の強化が加速いたしました。投資機会を逃さず事業成長を最優先で推進する一方で、外部資金調達に過度に依存せず、新株予約権の行使等による自己資本・調達資金を確実にグループ全体の運転資金へ機動的に充当することが、当社グループの事業基盤の安定化および中長期的な企業価値向上に直結すると判断し、短期間での資金使途の振替変更を行うことといたしました。

そのなかで、今回、現状の資金繰りにおいて、当社の運転資金に加えて、当社グループとして必要となる追加の運転資金を確保するため、第 20 回新株予約権の発行により調達する資金使途の変更を行うに至っております。

当初想定を上回った費用の内容としては、Web3 技術を核とした事業展開（Tokenized ブランディング等）およびグループ統括体制を加速させるため、専門機関への外注費・アドバイザー費用が新たに発生したこと、また前述の店舗リニューアルおよびアミューズメントポーカー事業における大型イベントの実施・グループシナジー創出に向けた運営費用など、発行後の事業展開およびグループ管理体制の検証を進めるうえで、発行時には想定していなかった具体的な事象および費用の増加が発生いたしました。また、当初は営業キャッシュフロー等で賄う予定であった当社グループの運転資金（人件費、子会社への給与支払及び諸経費等）、第 19 回新株予約権の一部取得・消却に伴う費用について

も当該行使による資金調達から充当することで方針変更し、支出時期の延長による増額も行っております。

第20回新株予約権の発行により調達する資金使途のうち「②M&A、上場企業などへの投資資金」に充当する予定であった800百万円のうち150百万円、「③事業会社などに対する投融資資金」に充当する予定であった552百万円のうち150百万円を機動的に「①運転資金」に振り替えを行い、グループ全体の足元の資金基盤を盤石なものとするため、資金使途を変更いたします。

2. 変更の内容

変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

＜本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① 運転資金	<u>300</u>	2026年7月～2027年7月
② M&A、上場企業などへの投資資金	<u>800</u>	2026年7月～2029年7月
③ 事業会社などに対する投融資資金	<u>552</u>	2026年7月～2029年7月
④ 社債返済資金	200	2026年7月～2027年7月
⑤ 借入金返済	420	2026年7月～2027年11月
合 計	2,272	

(変更後)

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① 運転資金	<u>600</u>	2026年7月～2027年7月
② M&A、上場企業などへの投資資金	<u>650</u>	2026年7月～2029年7月
③ 事業会社などに対する投融資資金	<u>402</u>	2026年7月～2029年7月
④ 社債返済資金	200	2026年7月～2027年7月
⑤ 借入金返済	420	2026年7月～2027年11月
合 計	2,272	

なお、本新株予約権の行使による払込みは、原則として新株予約権者の判断によるため、新株予約権行使により調達する時期は、新株予約権の行使状況によって決定されますが、今回は、当該資金使途が当社の企業価値の創造と向上に大きく寄与するものであることを割当予定先から理解を得ておりますが、新株予約権の行使が思うように進まない場合には、資金使途の見直し及び別途の資金調達の可能性があることにも変更はございません。

3. 今後の見通し

本件変更が2027年8月期の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上